

晩秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で29回を向かえました。企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。今回は10月6日に東芝プラントシステム(株)さんを訪問しました。皆さんが廃炉に向け作業に取り組まれている状況を報告いたします。

TOSHIBA
東芝プラントシステム株式会社

【所長から一言】



当社は震災前から東芝グループの一翼を担い、原子炉・タービン設備の建設・定検作業に携わってまいりました。震災後は地震直後から安定化作業に向けて日々努力を重ねております。主としては、多核種除去設備設置に始まり、タンクの増設、3号機使用済み燃料プールからの燃料の取出しの一助として作業を進めてきています。現在では少しずつではありますが、東電殿から直接発注をいただけるようになってきており、今後も復興に寄与する企業として努力を続けていくつもりです。そのためにもますます『安全』『品質』『コンプライアンス』の3つを柱として復興事業に貢献してまいります。今後ともご指導ご鞭撻いただければ幸いです。（望月）

安全・品質向上・コミュニケーション向上への取組

東芝グループでは、独自の危険体感・品質体感訓練を行っています。本社側で毎年安全上・品質上のテーマを選定して教材を企画・設定し、実施に当たっては本社より講師を派遣し体感教育を行っています。安全上・品質上の危険を模擬し、ヒューマンエラーの気づきを体感しています。受講者のアンケートからは毎回『座学だけでなく、実体験ができる』とのことから好評を得ています。新しく入所者があった時には、朝礼の場で紹介して皆に顔を覚えてもらっています。現場で困っているのを見かけたら、お互いさまとして声掛けをして助け合うようにしています。



・東芝グループ独自の危険体感訓練



・東芝グループ独自の品質体感訓練



・朝礼での新人紹介（中央2名が新人）

令和3年度 東芝ESS/TPSC 活動強化宣言

「新入所者の指導に注力し、H/E撲滅と災害ゼロを目指します」

コロナ禍でのコミュニケーションの工夫

東芝グループでは、期初にグループ全体で安全決起大会を開催しています。東芝エネルギーシステムズ所長の挨拶、優良班長・グループの表彰、安全宣言を行った後に懇親を深めるためにバーベキューを行ってきました。残念ながら昨年度からは新型コロナウイルスの影響のため、決起大会の規模縮小および懇親会は中止せざるをえなくなっており、寂しい限りです。現在は、モチベーションの維持のために、全体朝礼に変えて企業棟内での全体朝礼及び表彰は継続して実施しています。早く以前のように皆が集まってコミュニケーションを図れる時が来ることを願っています。（写真はコロナ禍の前に撮影したもの）このような状況の中でもコミュニケーション不足にならぬよう、工事監理者側から積極的に声掛けを行うことにより、『何でも話せる雰囲気作り』を目指しています。



・東芝グループ全体の安全決起大会



・決起大会終了後の懇親会



・東芝ESS所長殿による優良班長表彰

編集後記



今回の発刊に当たり、望月所長と原菌様にはご多忙のところご対応いただき、有難うございました。震災後は、一時期に比べて工事量の減少や作業員の被ばくの関係で作業従事者の数が減ったため、現場の人のやりくりが苦勞されているそうです。また、震災後は設備や作業環境も変わり、次の世代や震災後に雇い入れる作業員への教育の難しさを感じておられるようでした。今後は益々、作業員に対する教育の多様性が求められると感じた次第です。東芝プラントシステム(株)様には、廃炉作業の中核を担われる企業として、益々のご活躍を期待いたします。ご安全に。